

ミスマッチを防ぎ、適切なサービスへ
つなげていくために

相談 & サビ管連携チーム

相談支援専門員とサービス管理責任者がよりよく連携するために

相談支援専門員とサービス管理責任者の連携での課題

相談支援専門員が十分に
アセスメントする前に
事業所利用がスタートしてしまう



相談支援専門員

サービス管理責任者は生活全体の
状況を見て、
サービスがあっているのか相談す
るタイミングを逃してしまう

サービス
管理責任者



情報が少ない状態で、サービス利用の可能性を判断しなくては・・・相談しながら進めたいけど、申請前だと相談員さんが決まっていない・・・
困ったな・・・

サービス利用ありきの話が進んでしまっていて、後から問題がたくさん出てきてしまいそう・・・
ご本人さんも、事業所スタッフさんも困ってしまったり、状況が悪くなってしまう・・・
改めていろんなことを調整しなおさなくては・・・

サービス
管理責任者



サービス利用の前に医療的なケアや金銭面の困りごとの解決も必要そう・・・自分たちだけで解決・支援できるかな？

相談支援専門員



利用者さんの安心できる暮らしのために、相談支援専門員とサービス管理責任者がすぐに相談しあえたり、適切な情報共有をする関係が大切！

そのために・・・

相談&サビ管連携チームを再び立ち上げ、そのチーム内で下記の3つのプロジェクトを立ち上げました。今年度は昨年の活動を引き続き取り組みました

- ① 課題の集約・場の設定
- ② 情報の集約
- ③ (以前行ったプロジェクトの)
チェックリストの活用



相談 & サビ管連携チームについて

設置日：令和4年 6月 13日

内容：①課題集約・場の設定プロジェクト
②情報集約プロジェクト
③チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト
プロジェクトを立ち上げ、活動を進めていくチーム

相談 & サビ管連携チームメンバー

チームリーダー 澤 幸恵 (就労移行支援・B型ワークシフトみしま)

サブリーダー 塩川健太 (相談支援事業所 ふぁいん)

メンバー 名倉むつみ (就労継続支援A型 アスミール)

遠藤通紀 (生活介護 おんすいち)

芦川 渉 (生活介護 みはらしの里)

伊藤田恵子 (サポートセンターひまり)

涌井京子 (さくらキャンプ)

山口幸子 (相談支援事業所 リベルテ)

課題の整理・場の設定プロジェクト

設置日 : 令和4年 9月 6日

内容 : 市内にある既存の集まる場（協働隊・連携会議・研修など）の機会に相談員とサビ管がつながる機会が持てるか検討する。

つながりを強化するために、どんな参集の形が効果的か探る。

メンバー :

プロジェクトリーダー 涌井京子 (さくらキャンプ)

メンバー 伊藤田恵子 (サポートセンターひまり)

松木洋平 (相談支援事業所ふぁいん)

課題整理・場の設定プロジェクトの活動

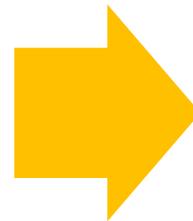
～顔を合わせている場を整理して、連携をより効率的に～

現在ある集まりの場を
把握する



アンケートの実施

活用できそうな場を
整理する



アンケートの分析
→アーチHPでの分析結果の
公表

集まる場の設定



連携会議の場の活用
ネットワークミーティング
分科会の実施

課題整理・場の設定プロジェクト
連携しやすい場や時間、やり方についてのアンケート結果

アンケート結果の掲載場所 アーチホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

提供するサービスの種別によって、忙しい時間、集まりやすい時間が異なる。
研修などに参加しやすい時間が異なるため、
今後、アンケート結果をもとに、集まりたい事業所の種別に合わせて
時間の設定に活用していく。

課題整理・場の設定プロジェクト 連携や集まりやすい場についてのまとめ

今後も連携会議やネットワークミーティング、
普段の会議、勉強会で、支援課題の共有を通して、
相談支援専門員とサービス管理責任者、サービス提供責任者
つながりを深める。

場の設定をすることにより、
一緒に悩んで考えていけるような仲間づくりを行う。

その過程で見えてきた課題を集約し、
今後必要に応じて
アーチでプロジェクトを立ち上げ対応していく。

情報集約プロジェクト

設置日 : 令和 4年 9 月 6日

内容 : ①事業所リストの作成 (つながりすと)
②研修や情報集約の場での企画と運営

メンバー :

プロジェクトリーダー	遠藤通紀 (生活介護 おんすいち)
サブリーダー	芦川 渉 (生活介護 みはらしの里)
メンバー	山口幸子 (相談支援事業所 リベルテ)
	鈴木弓子 (相談支援事業所 ステップ)
	大庭徹子 (就労継続支援B型 さわじ作業所)

情報集約プロジェクトの活動 つながりすとの作成

令和4年度からの流れ

すでにまとめてある
情報を把握する



情報交換と
現状リストの整理



リスト作成を検討
↓
より連携に活かせる
リスト作成

令和5年度の活動では、
具体的な情報やスムーズな連携のため、事
業所の特徴や建物の様子、活動内容、
それぞれの担当者がわかる
相談員とサビ管、サ責のためのリストを作
ることになりました！



つながりすと



情報集約プロジェクト つながりすと作成の流れ

連携会議などでの説明

協力依頼

「つながりすと」の原本をメール配信し、それぞれ記入してもらい回収

相談支援事業所リスト作成

アーチ運営会議で確認後、原本をメール配信

福祉サービス事業所リスト作成

ネットワークミーティングに向けて回収

ネットワークミーティング分科会で紹介
リストのメモ欄にそれぞれ各自、必要な情報を記入し、活用していただく

両方を合わせた
つながりすと完成

情報集約プロジェクト

つながりすと作成後の活動について

- つながりすと作成後の情報集約プロジェクトの活動について
情報集約プロジェクトとは、リストの作成で終了する。

「つながりすと」は年に1回、情報の見直しをする。

アーチの事務局に「つながりすと」の修正の有無を年1回確認してもらう。

変更のあった事業所はリストを修正していただき、「つながりすと」の情報を更新する。

活用してね



チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト

設置日 : 令和4年 9月 6日

内容 : ①チェックリストの簡易版の作成をする
②活用方法の紹介
③実際に使ってみる

メンバー :

プロジェクトリーダー 名倉むつみ(就労継続支援A型 アスミール)

メンバー 塩川健太(相談支援事業所 ふあいん)

石垣明子(相談支援事業所 さくらキャンプ)

澤 幸恵(就労移行・B型ワークシフトみしま)

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト

令和4年度からの流れ

チェックリスト
の確認



簡易版の
作成



試して活用

令和5年度の活動では、
連携会議の勉強会でチェックリスト（簡易
版）を紹介させてもらい、実際にどんな場面
で使うかのロープレを見てもらいました。
相談員の集まる連携会議にサビ管も参加する
ことで、つながる場の一つにもなりました。



チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト

今後の活動について

- チェックリスト簡易版を使用してみて、改善するところがあれば修正する。
- 修正したものを各事業所にチェックリスト簡易版を配信し、活用していただく。

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクトは
今年度で終了し、連携をとる中で課題が上がれば、
再度プロジェクトを立ち上げ取り組んでいく。